

生産動向について（平成19年1月：「鉱工業指数」）

1 生産

季節調整済指数は104.4で、前月比4.0%増となりました。（原指数96.9、前年同月比2.9%増）

業種別にみると、食料品・たばこ工業や電気機械工業など7業種が上昇しました。また、輸送機械工業や金属製品工業など11業種が下落しました。

平成19年1月の鉱工業指数

平成12年=100

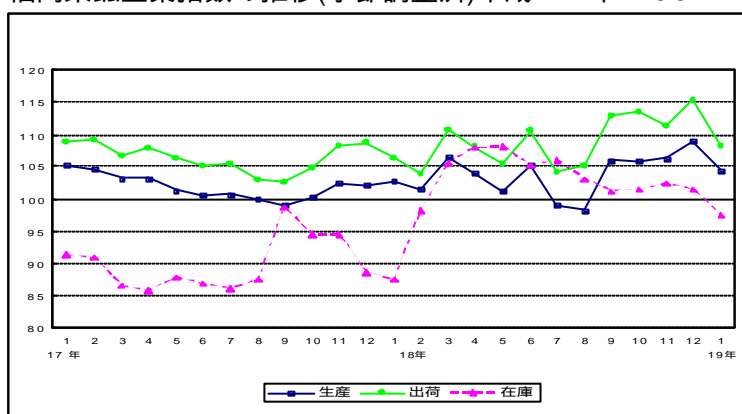
		季節調整済指数		原指数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
福岡県	生産	104.4	4.0	96.9	2.9
	出荷	108.4	6.0	99.1	3.6
	在庫	97.4	3.9	98.6	11.3
九州	生産	112.0	1.1	103.7	6.4
	出荷	114.0	1.0	105.3	7.8
	在庫	89.1	0.4	90.5	1.6
全国	生産	108.0	1.5	100.4	4.3
	出荷	111.4	0.3	102.0	4.5
	在庫	97.4	0.9	99.3	2.9

2 出荷

季節調整済指数は108.4で、前月比6.0%増となりました。（原指数99.1、前年同月比3.6%増）

業種別にみると、食料品・たばこ工業や鉄鋼業など5業種が上昇しました。また、輸送機械工業や一般機械工業など13業種が下落しました。

福岡県鉱工業指数の推移(季節調整済)平成12年=100

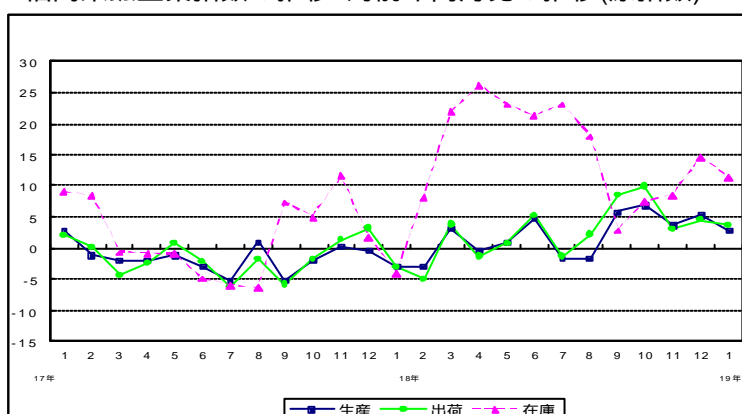


3 在庫

季節調整済指数は97.4で、前月比3.9%減となりました。（原指数98.6、前年同月比11.3%増）

業種別にみると、一般機械工業や電子・デバイス工業など5業種が上昇しました。また、輸送機械工業や電気機械工業など13業種が下落しました。

福岡県鉱工業指数の推移 対前年同月比の推移(原指数)



主要9業種の動向【生産】

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇または下落に寄与した主な品目(前月比)	ウェイト
鉄鋼	3.0	9.2	特殊鋼熱間圧延鋼材、冷延電気鋼帯、めっき鋼材	1119.0
金属製品	7.1	4.7	鉄骨、飲料用缶、スチールシャッタ	800.7
一般機械	4.0	4.3	クレーン、自動立体倉庫装置、冷却塔	930.7
電気機械	4.2	6.2	サーボモータ、交流電動機、コンデンサ	603.1
電子・デバイス	0.4	25.2	線形回路、混成集積回路、光電変換素子	726.6
輸送機械	16.3	4.8	普通自動車、自動車部品、小型自動車	1259.9
窯業・土石製品	5.5	0.8	セメント、安全ガラス、生コンクリート	741.9
化学	1.8	5.4	ビスフェノールA、ポリカーボネート、複合肥料	904.0
食料品・たばこ	5.2	2.1	砂糖、めん類、小麦粉	1438.1

ウェイト・・・平成12年における、生産活動全体を10000とした場合の各業種の規模を付加価値額の割合で表したものの。